



2020年秋冬合併号、「浦上流配信徒大和郡山流配150周年」特集号



2022年冬号、コロナ禍の教会

でめきん一ロメ

「でめきん」ニックネームのいわれを教えて

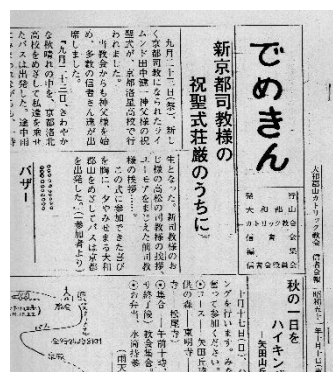
一つ目は、大和郡山とくれば金魚。その王者がユーモアある「でめきん」ですね。大きな金魚で回りを見渡し、あらゆる情報を本誌に取り込もうと意図されました。二つ目は、初期キリスト教時代には魚がキリストのシンボルでした。ギリシャ語でキリストと魚の頭文字が同じであるため迫害時代の信徒たちが互いの合図のために盛んに使用しました。今日なお、ローマのカタコンベ壁には、いくつもの魚の絵が残っています。
(2025年1月発行 「でめきん」冬号より)



③



④



①



②



⑤



“でめきん”ヒストリー

これからも皆さんと共に

広報誌①「でめきん」創刊は1976年10月10日ですが、その年の5月1日無名の②信徒広報誌が発行されています。でめきんの題字とロゴは宮川さんのデザインで、③2004年春号からです。④2018年春号からは、現在と同じA4カラー印刷となりました。⑤「でめきん」はこれからも教会情報の伝達や信徒間のコミュニケーションの醸成などに役立つ媒体でありたいと願っています。また子供たちの日曜学校通信誌⑤「ぶどうの木」は2003年創刊され、長年発行されましたが子供数の減少により、現在休刊しています。